

近年、私たちの生活の中に深く浸透してきているICT。それは人と人との間を新しいかたちでつないでいます。例えば、遠く離れた場所の人や普通なら出会わないような人同士がソーシャルメディアを通じて親しく交流できるなど、ICTの力は私たちの世界を大きく広げる可能性を持つものです。

私たちは今、こうしたICTがもたらす利便性を様々なかたちで享受しています。しかし、その一方で、そこには多少のとまどいや不安な気持ちもぬぐいがたく存在するのも事実です。

最近では、常時入ってくるメールや知人のコメントへの対応などに、ある種の気疲れを感じている人も少なくないと聞きます。また逆に、すぐ隣のデスクの人にも、直接話をせずにメールで連絡するなど、すべてをネットですませる人も増えているそうで、身近な人との関係性の希薄化も危惧されます。

結局、コミュニケーション能力の基本は、個々人が現実の生活の中で周囲の人たちと日々接しながら身につけていくもので、それは時代が変わっても同じことでしょう。ICTはあくまでも道具や手段。それに振り回されずにどう上手く使いこなしていくのか、それがこれからも私たちに常に問われるものとなってくるはずです。

——丹戸 裕之

CEL 102号

特集 ICTのエネルギーが社会をつなぐ

発行●平成24年 11月1日 頒価1,000円(送料別途)

発行 大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所 (CEL)
〒541-0046 大阪市中央区平野町4-1-2

発行人 木全 吉彦 Yoshihiko Kimata

編集人 丹戸 裕之 Hiroyuki Tando

企画制作 豊田 尚吾 Shogo Toyota

編集 ●関西ビジネスインフォメーション(株)内 CEL編集室
〒530-0005 大阪市北区中区之島3-2-18
住友中区之島ビル7F
TEL.06-4803-2238

印刷・製本 ●日本写真印刷株式会社

RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURE, ENERGY AND LIFE
© 2012 OSAKA GAS CO., LTD.

禁無断転載複写

※本誌掲載の寄稿文、インタビュー、レポートなどの内容は必ずしも大阪ガスの見解を表すものではありません。本誌・バックナンバーのコンテンツやエネルギー・文化研究所(CEL)の活動内容はインターネットホームページ[<http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/cel/>]でご覧いただけます。

本誌に関するお問い合わせ、ならびにご購読申し込みや送付先変更等のご連絡は CEL編集室 Tel.06-4803-2238 Fax.06-4803-2240 cel@kbinfo.co.jp まで

思いのままに自己を表現する「生の芸術」

Art Brut

作品写真：大西暢夫

▼古久保憲満「カナダの町」(2011年)



紙、鉛筆、色鉛筆、
ボールペン、水性ペン
546×778

紙上に拡張する世界を描く、2人の作家の展覧会

「スーパー・ワールド・オン・ペーパー 古久保憲満と松本寛庸」
ボードレス・アートミュージアムNO-MAで開催中(11月11日まで)。



松本寛庸さん



古久保憲満さん

▼松本寛庸「サグラダファミリア大聖堂」(2012年)



紙、鉛筆、色鉛筆
380×539

▼久保田洋子 「渦巻きドレスのお姉さん」 (2005年)



紙、色鉛筆、水性ペン 217×267



▲蒲生卓也 「バビリオ クロミス ラミレージ」(1999年)

水彩紙、鉛筆、色鉛筆
546×394